

「郷土素材の教材化と活用の実践」資料

加世田市立万世中学校 上村 勉

- 1 題 材 「音楽とくらしのかかわりをとおして郷土の音楽に親しもう」
教 材 「加世田の子守歌」【創作・鑑賞】(郷土素材による教材)
関連教材 「ねんねーねんねー」(南薩・全県)
「南薩地方の子守歌」(知覧)
「よーかいよーかい」(種子島)
「徳之島の子守歌」(徳之島)
「沖永良部の子守歌」(沖永良部島)
「コッチコイ」(種子島)
- 【鑑賞・歌唱】

2 題材について

学習指導要領では、我が国の伝統的な音楽文化のよさに気付き、尊重しようとする態度を育成する観点から、和楽器を活用した表現や鑑賞の活動を通して、我が国や郷土の音楽を体験できることが具体的改善事項の一つとして述べられている。このことは、我が国の伝統的な音楽と音楽文化に対して更に理解を深める趣旨から示されたものである。すなわち、今まで培ってきた郷土文化のもつよさや素晴らしさを再認識し、誇りをもつことが大切であり、生徒が郷土の伝統音楽を理解し、親しむことはこれからの国際社会に生きる一員としても必要なことである。

そこで郷土で伝承されてきた伝統音楽(芸能)を教材化することにより、その音楽が生まれた背景(時代、地域、社会等)を理解しながら、人間と音楽の関わりをとらえることができる能力を育てることをねらいとし、幅広い観点から教材を選んで授業に積極的に取り入れていきたい。

これまでは、「音楽とくらし」(「日本の祭りの音楽と芸能」)の学習を通して、楽器の音色や響き、リズムの特徴を感じ取り、それぞれの祭りの成り立ちや四季折々の人々のくらしとの結びつき等についても理解を深められると考え、題材を位置付けてきた。学習活動は、コンピュータを活用し、生徒一人一人がCD-ROMをブラウザで視聴し、発展的学習でインターネットで調べ学習を行う鑑賞活動が中心であった。

今回は、鹿児島県の「子守歌」に重点を置き、子守歌の成り立ちや音楽の特徴を理解し、身近な地域素材である「加世田の子守歌」の歌詞をベースにした、表現・鑑賞活動を展開し、郷土の音楽に関する意識付けを図りたいと考え、題材を位置付けた。

今後の学習(題材)への発展として、

- (1) 「曲の特徴を探そう」・・・曲の特徴を感じ取り、オブリガートを創作し楽器で演奏する。
- (2) 「儀式と音楽」・・・雅楽「越天楽」を鑑賞を通し、楽器の響きを味わい、現代に生きる雅楽の多様な魅力を感じ取る。

以上のような学習活動を考えている。

3 目 標

- (1) 郷土の音楽に親しみ、郷土の音楽を大切にしようとする態度を育てる。(関心・意欲・態度)
- (2) 子守歌の旋律の表情を感じ取り、その特徴にふさわしい音色や歌い方を表現するための技能を身に付ける。(表現の能力)
- (3) 郷土に伝わる子守歌の特徴を感じ取り、そのよさを味わいながら聴くことができる。
(鑑賞の能力)

4 教材について

(1) 学習指導要領との関連

重点指導内容

関連する指導内容

学習指導要領 の内容	A 表 現										B 鑑 賞		評 価 の 観 点			
	ア 歌詞の内容や曲想を感じ取って歌唱表現を工夫すること。	イ 曲種に応じた発声により、言葉の表現に気を付けて歌うこと。	ウ 楽器の基礎的な奏法を身に付け、美しい音色を工夫して表現すること。	エ 声部の役割を感じ取り、全体の響きに気を付けて合唱や合奏をすること。	オ 短い歌詞に節付けしたり、楽器のための簡単な旋律を作ったりして声や楽器で表現すること。	カ 表現したいイメージや曲想をもち、様々な音楽材を用いて自由な発想による即興的な表現や創作をすること。	キ 音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きを感じ取って表現を工夫すること。	ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取って表現を工夫すること。	ア 声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きとそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想を感じ取って聞くこと。	イ 速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取って聞くこと。	ウ 我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を感じ取って聞くこと。	エ 音楽をその背景となる文化・歴史などとかかわらせて聴くこと。	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
郷土の音楽素材																
加世田の子守歌																
ねんねーねんねー																
南薩地方の子守歌																
よーかいよーかい																
徳之島の子守歌																
沖永良部の子守歌																

(2) 郷土素材に関する生徒の実態

実施期日 平成15年9月11日(木)実施

対象者 万世中学校 1年3組 男子16名 女子16名 計32名

あなたは、これまでに郷土の伝統的な音楽を実際に見たり、聴いたり、演奏したり、踊ったりした経験がありますか。

どのような経験ですか？	その感想は？
棒踊り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の運動会で踊った。少し難しかった。 ・ とても難しく複雑。また楽しく面白かった。 ・ 昔の人の生活やくらしの様子がよく分かるような気がする。 ・ 実際にやると覚えるのが大変。 ・ 地味でかっこわるい。棒が重い。 ・ 独特のリズム感があり面白い。 ・ しっかりとした動きが気に入った。 ・ みんなで息を合わせ力強くやった方が迫力があると思った。 ・ ふつうの踊りとは違うが面白かった。 ・ 最初は難しくて覚えるのに大変だったけど、あとから少し面白かった。 ・ 面白かった。ちょっと難しかった。 ・ みんなで息を合わせないといけないので大変だった。 ・ 大きな声でやった方が力強くなる。

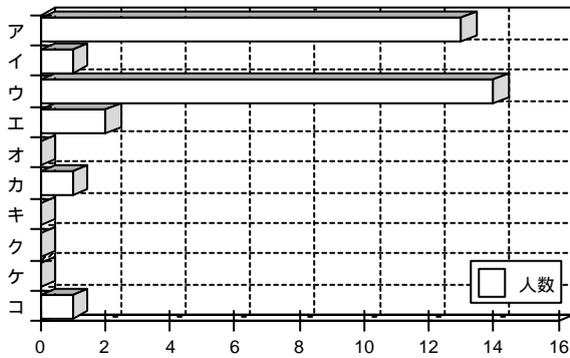
ソーラン節	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り付けがとても面白くて、疲れたが楽しめた。 ・ 激しくてその地方の様子がよくあらわれている。 ・ 漁師の気持ちが分かる。
益山音頭	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワンパターンだが、けっこう難しい。
加世田音頭	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで輪になって踊るのでとても楽しい。
唐仁原踊りの曲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男の人が歌っていてかっこよかった。力強さがあった。

あなたは、郷土の伝統的な音楽や楽器、踊りなど知っていますか。

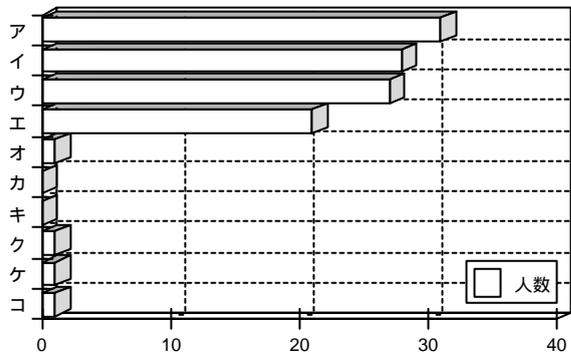
伝統的な音楽や楽器、踊り	その感想は？
日本舞踊	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞きながら踊ってすごく難しい歌詞ばかりでびっくりした。
日本舞踊（吾妻流）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りや敬老会で踊り、「上手だよ。また踊ってね。」と声をかけてくれる人がいるからうれしい。
妙円寺詣りの歌	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少し難しかった。
聴いたことがある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的な音楽を聴き、昔から伝わっている音楽だなと思った。

あなたは、次に示す音楽や楽器を知っていますか。（複数回答可）

A 音楽



B 楽器



ア 鹿児島おはら節 イ 妙円寺詣りの歌
 ウ 茶わん虫 エ ねんね-ねんね-
 オ 南薩地方の子守歌 カ よーかい
 キ ねんねがせ ク 沖永良部の子守歌
 ケ いきゅんにや加那 コ ーかけ二かけ

ア 三味線 イ 尺八
 ウ 和太鼓 エ 箏（おこと）
 オ 薩摩琵琶 カ 天吹（てんぷく）
 キ ゴッタン ク 竜笛
 ケ 簞箒（ひちりき） コ 笙（しょう）

あなたが一番演奏してみたい和楽器は何ですか。（ （ ）内は人数 ）

- ・ 三味線（18） ・ 和太鼓（6） ・ 箏（2） ・ 尺八（2）
- ・ 笙（1） ・ 天吹（1） ・ 竜笛（1）

あなたが郷土の音楽を音楽の授業でやってみたいことは何ですか。

- ・ 民謡など聴きたい。三味線などの楽器を習いたい。
- ・ 三味線，尺八，和太鼓などでいろんな曲を奏でてみたい。
- ・ 題名を初めて知ったので，一かけ二かけをやってみたいと思った。
- ・ 郷土の音楽に使われる楽器を実際に演奏してみたい。
- ・ 鹿児島のおはら節をやってみたい。南薩地方の子守歌をやってみたい。
- ・ 和楽器の勉強をしてみたい。演奏の仕方など。
- ・ 郷土の音楽を取り入れた劇。
- ・ 郷土の音楽をいろんな楽器で演奏したい。
- ・ 和楽器を使ってみんなで演奏してみたい。
- ・ よーかい，いきゅんにや加那，おはら節，茶わん虫など。
- ・ 鹿児島おはら節みたいな踊るものもやってみたい。
- ・ 誰でもできる和楽器をみんなで演奏をすること。
- ・ その楽器を演奏してみたい。あと踊ってみたい。
- ・ みんなで楽器を使って演奏してみたい。
- ・ いろんな歌をみんなで歌う。そしてそれに合わせて楽器を使って演奏していきたい。
- ・ とにかく全く知らないなので，親しむために何でも挑戦したい。できるなら和太鼓を使った曲の授業をしたい。

あなたは，日本や郷土の伝統音楽についてどのような考えをもっていますか。

- ・ 昔からあって良いなと思う。
- ・ 踊りはとても難しいけど楽しいと思う。民謡などもその地域だけの歌でとてもいいと思う。
- ・ 昔の音楽が今までずっと郷土の人に愛され歌われてきたことが最も素晴らしいことだと思う。
- ・ ずっと昔からある音楽が今まで続いていてとても良いことだと思う。これからも続いていくといいと思う。
- ・ 日本には日本の和風的な伝統音楽があるのでそれを大切にこれからもずっと伝統音楽を忘れずにしていきたいです。
- ・ 日本には日本の伝統を守り続けてほしい。
- ・ 今まで習ってきたクラシックなどと違って，言にくい（書きにくい）んですが，その地方独特の曲，つまり地方ならではの曲という感じがする。奥が深い。
- ・ 郷土の伝統音楽を聴いてみて，主に郷土の有名な行事のことなどが歌や題名に出ている。
- ・ 昔から伝わるその地域の歴史なんか分かったりしてとても大事だと思う。
- ・ 伝統音楽はあまり知らないけれど，少し興味がある。
- ・ 郷土の伝統音楽はとても興味深く，温かみのあるものだと思う。伝統音楽を演奏してみたいと思う。現代風にアレンジしたらもっと楽しいものになると思う。
- ・ ほとんどの郷土の伝統音楽のリズムや音がいい。
- ・ 素晴らしい郷土の音楽がせっかくあるんだから世界に広めたらいいと思う。
- ・ 日本独特な感じの曲だから良いなと思う。
- ・ 演歌みたいでなんか古くて昔みたいなイメージが強い。
- ・ 知らない郷土の伝統音楽があるので，一回聴いてみたい。子守歌など種類がいっぱいあって，こだわりもいっぱいある。
- ・ いろんなこだわりがあっておもしろい。気持ちが落ち着く，安らぐ。心がはずむ。
- ・ 日本の伝統音楽と聞いたら，やっぱり伝統・歴史が長いというのを思い浮かべる。
- ・ 日本や郷土の伝統音楽なので，これからも続けていけばいいと思う。
- ・ 昔からこんな音楽があるんだなと思った。
- ・ 現代まで受け継がれてきたものだから大事にし，また次の世代へと見守ってもらいたい。
- ・ どんなふうになられたか（曲が）。その曲が何に使われているか。
- ・ ずっと伝統として守り続けてほしい。何十年経ってもその音楽が伝統であってほしい。
- ・ これからも伝統的な曲を他の県の人にも知ってもらいたい。
- ・ この鹿児島県の伝統音楽は知らないけど，他の地方の曲は小学校でやったことがあります。日本に昔から伝わった歌はたくさんの歴史をもっていると思うので，もっともっと知りたい。

【考察】

生徒の伝統的な音楽の体験は、小学校の運動会や地域の行事に参加し得たものがほとんどで、自ら進んで聴いたり演奏したりする機会は少ないようである。しかし、中には日本舞踊などの習い事をする中で積極的に伝統的な音楽と関わろうとしている生徒も見逃せない。

生徒の中には郷土の音楽や楽器の名前はあまり知らないが、聴いてみると反応を示す生徒がかなり多い。また、「日本や郷土の伝統音楽」に対し、興味・関心のある生徒が多く、生の演奏を見たり、実際に和楽器を使って演奏する学習活動を希望している。

(3) 指導上の留意点

郷土の子守歌の特徴を把握させるために、音階の特徴に気づかせ、独特の雰囲気味わわせる。

創作活動においては、歌詞に合わせた創作を工夫させるようにする。また、その際にはコンピュータを使用し、生徒の創作・歌唱活動がスムーズに進むよう配慮する。

5 指導と評価の計画

時間	主な学習活動	教材名	単位時間における評価規準
1	<p>1 郷土の音楽を聴いてみよう。 子守歌を聴き、それぞれの曲の特徴や雰囲気を味わう。</p> <p>2 郷土の子守歌を歌ってみよう。 曲に相応しい歌い方を工夫する。 曲想の違いに気付く。</p> <p>学習課題 郷土の子守歌の特徴や雰囲気を味わいながら歌おう。</p>	<p>・ねんね-ねんね- ・南薩地方の子守歌 ・よ-かいよ-かい ・徳之島の子守歌 ・沖永良部の子守歌</p> <p>〔陽音階 陰音階 琉球音階〕</p>	<p>・郷土の音楽に関心を持ち、意欲的に聴くことができる。(反応観察, 発表観察)</p> <p>・それぞれの曲の特徴や雰囲気に気付き曲想にふさわしい歌い方を工夫することができる。(表現観察)</p> <p>【評価方法】 ・観察法 ・自己評価カードへの記入</p>
2 3	<p>1 子守歌の特徴をつかもう。 郷土の子守歌の旋律の特徴を把握する。</p> <p>2 子守歌の雰囲気を生かして「加世田の子守歌」の旋律を創作しよう。 歌詞の内容にふさわしい旋律の創作を工夫する。</p> <p>学習課題 子守歌の旋律の特徴を把握し、「加世田の子守歌」を創作しよう。</p>	<p>〔陽音階 陰音階 琉球音階〕</p> <p>・加世田の子守歌 ・自作の子守歌</p>	<p>・それぞれの子守歌の旋律の特徴を把握することができる。(発表観察)</p> <p>・創作に興味・関心を持ち、意欲的に活動することができる。(反応観察)</p> <p>・グループで協力して創作した旋律を練習することができる。(表現観察)</p> <p>【評価方法】 ・観察法 ・ワークシート ・自己評価カードへの記入</p>
4 (本時)	<p>1 私たちの「加世田の子守歌」を発表しよう。 グループごとに曲想にあった歌い方を工夫する。 実際の「加世田の子守歌」を鑑賞する。</p> <p>2 郷土の音楽について感じたことをまとめてみよう。 郷土の音楽の特徴や雰囲気に ついて考えたことをまとめる。</p> <p>学習課題 「加世田の子守歌」を発表し、郷土の音楽のよさを感じ取ろう。</p>	<p>・加世田の子守歌 ・自作の子守歌</p>	<p>・グループで協力して創作した旋律を演奏することができる。(発表観察, 表現観察)</p> <p>・実際の「加世田の子守歌」を鑑賞し、曲の雰囲気を味わうことができる。(発表観察, 反応観察)</p> <p>・郷土の音楽の特徴や雰囲気を把握することができる。</p> <p>【評価方法】 ・観察法 ・ワークシート ・自己評価カードへの記入</p>

3 本時の実際 (4 / 4)

(1) 目 標

- ア 子守歌の旋律の特徴を把握し、そのよさを感じ取れるようにする。
- イ 子守歌にふさわしい声の出し方や歌い方により、子守歌の持ち味を表現できるようにする。

(2) 評価規準

- ア 子守歌に興味・関心をもち、意欲的に歌ったり聴いたりしている。(音楽への関心・意欲・態度)
- イ 子守歌にふさわしい旋律を感じ取り、曲想にあった表現の工夫をしている。(音楽的感受や表現の工夫)
- ウ 旋律の特徴を生かした創作を行い、曲の特徴や雰囲気を生かして表現する技能を身に付けている。(表現の技能)
- エ 子守歌を鑑賞し、その曲のもつよさや美しさを感じ取っている。(鑑賞の能力)

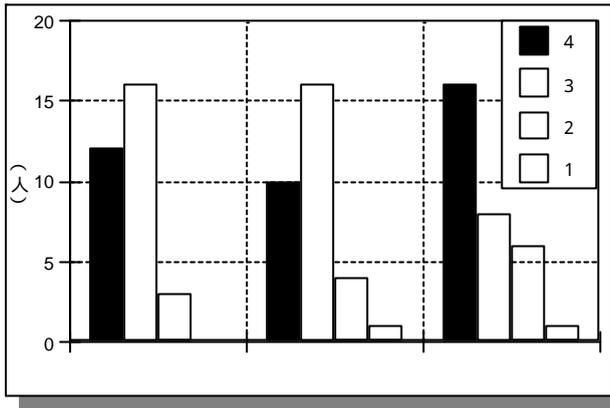
(3) 実 際

過程	時間	学 習 活 動	形 態	教師のかかわり (*は評価)
と き め き	7	1 既習曲を歌う。 ・ 郷土の子守歌を連続して歌う。 2 本時の学習課題を確認する。 学習課題 「加世田の子守歌」を発表し、 郷土の音楽のよさを感じ取ろう。	一 斉	それぞれの子守歌の旋律の特徴を生かしながら歌うように指示する。 *評価ア,ウ 本時の目標と学習の流れについて知らせ、意欲を高めさせる。
き ら め き	30	3 創作「加世田の子守歌」を発表する。 ・ グループごとに創作した旋律を歌う。 ・ 他のグループの演奏を聴き、雰囲気や特徴を味わう。 4 実際の「加世田の子守歌」を鑑賞する。 ・ 自分たちの旋律と比較し、その特徴を話し合う。	グル ー プ 個 人 一 斉 個 人	自分たちが工夫した点について述べさせ、曲の特徴や雰囲気を生かしながら歌わせる。 *評価イ,ウ 自分たちの演奏と聴き比べ、雰囲気や特徴が異なることに気付かせる。 *評価エ 自分たちの曲と比較した特徴を具体的にワークシートに記入させる。 *評価エ
ひ び き あ う	8	5 郷土の音楽について感じたことをまとめる。 ・ これまでの学習を振り返り、ワークシートに記入する。 6 本時の学習のまとめをする。	個 人	郷土の音楽や自分の地域に伝わる芸能等について理解を深めさせる。 次時の学習の確認をし、意欲をもたせる。

(4) 評 価

- ア 子守歌の旋律の特徴を把握し、そのよさを感じ取ることができたか。
- イ 子守歌にふさわしい声の出し方や歌い方により、子守歌の持ち味を表現することができたか。

6 考 察 (自己評価カードから)(31名提出)



【自己評価項目】

創作活動に興味・関心をもち、意欲的に取り組むことができた。

グループで協力して積極的に発表活動を行うことができた。

他のグループの発表を聴き、その子守歌の特徴を感じ取り、工夫した点に気づくことができた。

(4...よくできた, 3...できた, 2...あまりできなかった, 1...できなかった)

【郷土の音楽について感じたこと】

郷土の音楽を聴いて、鹿児島の子守歌がいろいろあると知った。最初の時間には、まだ1曲しか知らなかったけど、いろいろな曲を聴いていくうちに分かりました。あとグループで子守歌を作るのに郷土の音楽を見本にして自分たちに子守歌を作るのに役に立ちました。今まで郷土の音楽を学習してきた子守歌をまた学習したいと思いました。この授業をして楽しかったです。

陽音階、陰音階、琉球音階など3つの地域で構成される5つの音の意味が分かった。沖縄県の曲が不思議な感じになぜなるのか？また一定のルールを守れば3つの音階すべてを自分の力で作れることが分かりました。鹿児島は陽音階(田舎節)がほとんどであることが分かった。この音楽で子守歌をしてとてもよかったです。

郷土の音楽は珍しい音階や歌詞があってすごいことなんだ、今まで郷土の音楽として残っているということとは思いました。子守歌を聴いたり、作ったり、歌ったりしていろいろなことを知りました。お手伝いさんが言った「早く寝てよっ！」という気持ちが伝わってくる歌詞が「ドキッ」としました。また郷土の音楽で子守歌以外のことをやってみたいと思いました。

郷土の音楽といってもあまり知らなかったし、もちろん興味もあまり持てずにいました。でもこの授業をとおしてたくさんの曲をしれたし、工夫もあるんだなぁと感じました。少しずつ授業が楽しくなって「面白いなぁ」「変わっているなぁ」「眠い」とかたくさん音楽に対する感じ、工夫を感じ取れたのでうれしくなった。またやりたいと思う。

音楽の時間、子守歌で思ったことは同じ音楽の繰り返しのおもり歌がほとんどだったです。しかし、飽きなくて面白かったです。自分たちで子守歌を作って思ったことは、子守歌は工夫すればどんな風にもアレンジできるということが分かりました。前までは子守歌を聴いたことはなかったけど、あと子守歌には方言を入れるとより一層よくなることが分かりました。前までは子守歌を聴いたことはなかったけれど、これをきっかけに子守歌を聴きたいです。

郷土の音楽を聴いたり、子守歌を作ったり、充実した学習でした。郷土の音楽は自分の知っている曲や知らない曲などいろいろあり、聴いていて飽きなかったです。また、子守歌を作るのは、考えていたのよりずっとたいへんでした。歌詞やメロディを自分たちで考えるというのは難しかったです。それだけに曲ができあがった時はうれしかったです。今度は子守歌じゃなく他の曲も作ってみたいです。

子守歌を聴いて陽音階・琉球音階・陰音階のそれぞれの特徴が出ていてよかった。なんかすごく落ち着ける感じがしてよかった。高い音で歌う曲や低い音で歌う曲それぞれ音の高さが違うだけで曲の感じが180度変わってしまうので、全然違う味わい方ができた。曲を作ったりして面白かった。「郷土の音楽」にふれ、少しでも知れたのでよかったです。

今まで「郷土の音楽」について勉強をしていて方言が入り、音階の違いなどいろんな勉

強をして難しくもあり，楽しくあっているんなことができよかったです。そして，歌詞の中に「ぐわ」とか「トゥ」などが入っていて歌いにくいのを，その地の人は歌いこなせるなんてすごいなあと思いました。そして，すごく短い子守歌でも歌い方や歌詞の作り方によって変わるんだなあということが分かりました。この勉強をしているんなことが学べてよかったです。

〔考察〕

今回は，時間と資料の都合上，「加世田の子守歌」を使用しての活動ができなかった。今学期の中で生徒に提示できるようにしたい。

子守歌の創作・発表が最終的な活動になったわけであるが，創作や歌唱のみならず，音階の種類や楽典的要素などにもふれることができたと思う。また，他のグループの作品を聴くことで鑑賞の領域にもふれることができたと考えている。

授業に入る前，生徒は「郷土の音楽」に興味・関心をもっていたが，自己評価の感想からうかがう限りではそれを高めることができたようである。しかし，「自己評価項目」の と で「1」と評価した生徒がそれぞれ1名いた。この理由としては，歌詞と旋律の関係について考えすぎた結果，創作の時間がなく，満足のいく表現活動ができなかったことと，他のグループの発表を聴き，自分たちのグループの作品を厳しく比較した結果であることが分かった。それらの生徒にはまず賞賛に努め，今後の学習活動において適切な指導を心がけていきたい。

また，「郷土の音楽」への興味・関心を高めるために映像資料や和楽器を活用した活動を展開していきたい。